

令和2年度

名古屋大学大学院情報学研究科
心理・認知科学専攻
入学試験問題（専門）

令和元年8月7日
12:30～14:00

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 試験終了まで退出できない。
3. 辞書の持ち込みは認めない。
4. 日本語または英語で解答すること。
5. 問題冊子、解答用紙1枚、草稿用紙1枚が配布されていることを確認すること。
6. 設問A～Fまでの1つを選択して解答すること。なお、選択した設問記号を解答用紙の指定欄に記入すること。
7. 解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。解答用紙に受験者の氏名を記入してはならない。
8. 解答用紙に書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。ただし、裏面を使用した場合は、その旨、解答用紙表面右下に明記すること。
9. 解答用紙は試験終了後に提出すること。
10. 問題冊子、草稿用紙は試験終了後に持ち帰ること。

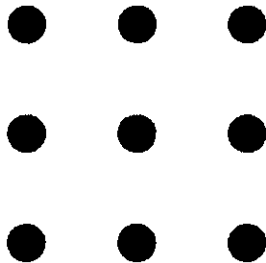
設問 A

以下の（１）および（２）の両方に、日本語あるいは英語で答えなさい。

（１）^{きのうてきこちやく}機能的固着 (functional fixedness) を説明し、さらにこの現象が観察される^{かだい}課題 (task) を１つ説明しなさい。

（２）以下の枠内の課題を用いた^{もんだいかいけつ}問題解決 (problem solving) の特徴を述べ、その解決のために必要な要因を１つ取り上げ説明しなさい。

下を示された 9 つの点を、一筆書きで、4 本の直線で結びなさい。 ※同じ点を何度通ってもよい。



設問 B

以下の問い（1）と（2）のすべてに日本語あるいは英語で答えなさい。

（1）以下の語句を、200字程度（or 100 words in English）で説明せよ。

- a) 弁別閾 (difference threshold)
- b) 明るさの対比 (brightness contrast)
- c) 蝸牛 (cochlea)
- d) 仮現運動 (apparent movement)

（2）知覚体制化 (perceptual organization) における「図と地」 (figure and ground) の具体的な例をあげて、「図と地」の特徴を詳細に説明しなさい。

設問 C

以下の（１）～（４）の事項から３つを選びなさい。各事項に示された概念間の類似点や相違点など相互の関係について説明しなさい。また、各概念が現在の社会心理学分野にとってどのような意義をもつかを述べなさい。いずれも、具体的な理論または実証的研究の知見をもとに述べなさい。

- （１）錯誤相関（illusory correlation）と外集団同質性効果（out-group homogeneity effect）
- （２）反事実的思考（counter-factual thinking）と原因帰属（causal attribution）
- （３）道徳判断（moral judgments）における嫌悪感情（disgust）と怒り感情（anger）
- （４）社会的アイデンティティ（social identity）と自己カテゴリー化（self-categorization）

設問 D

内臓などの身体内部の知覚を内受容感覚 (interoception) と呼ぶ。これについて、(1) と (2) の両方に、日本語あるいは英語で答えなさい。

(1) 内受容感覚を測定する方法について説明しなさい。

(2) 内受容感覚は、感情の経験 (experience of affect) や意思決定 (decision-making) に重要な役割を果たすと主張されている。この問題についてのこれまでの研究知見を説明しなさい。

設問 E

以下の（１）および（２）の両方に日本語あるいは英語で答えなさい。

（１） 次の（a）～（c）の語の全てについて、１つあたり 150 字程度（approx. 80 words in English）で説明しなさい。

（a） ワーキングメモリ (working memory)

（b） 情動伝染 (emotional contagion)

（c） 誤信念課題 (false-belief task)

（２） 脳はネットワークとして機能している。まず（a）脳活動の^{きのうてきけつごうせい}機能的結合性 (functional connectivity) について概説し、次に（b）機能的ネットワークの代表例であるデフォルトモードネットワーク (default mode network) とはどのようなものかについて、最後に（c）デフォルトモードネットワークと他の機能的ネットワークとの競合と協調について、それぞれ説明しなさい。

設問 F

以下の（１）と（２）両方の設問に日本語あるいは英語で答えなさい。

（１）心理学研究において行動の背後にあるプロセスを記述した数理モデル（mathematical model）を用いる意義について、具体的なモデルとそれを用いた研究事例を述べながら論じなさい。

（２）（１）のような数理モデルに加えて分散分析（analysis of variance）等の標準的な統計分析法（statistical analysis）を心理学研究において使う意義，ならびに両者の役割の関係について論じなさい。